

多文化共生保育通信 9号

希望の家カトリック保育園 2020年3月

アイヌラさんは、カザフスタン出身のお医者さん。今、京都大学大学院で医学を勉強されています。月2回、保育園に来て、いつも笑顔で子どもたちと遊んだり、料理を作ったり、ダンスを踊ったり、一緒にご飯を食べたり・・・子どもたちは、アイヌラさんが大好き。

カザフスタンは、人口約1800万人、カザフ・ロシア・ウズベク・ウクライナなど、いろんな民族や宗教の人たちが住んでいますが、お互いを尊重しあって、仲良く暮らしているそうです。

保育園の多文化共生保育を支えてくださるのは、京都YWCAのみなさんです。張善花(チャンソフア)さんは、いつもアイヌラさんと一緒に来て、子どもたちと遊んだり、通訳してくださったり・・・ありがとうございます！

多文化共生保育は、あなたと私が出会い、お互いを知り学び、出会えたことを喜ぶことです。互いを尊重し合い、助け合うことの喜びを体験することです。アイヌラさん・張さんとの出会い、策九条マダンでの出会い、そして保育園の友、先生、保護者のみなさんとの出会いを喜び合う日々をこれからも大切にしていきたいと思えます。

叶 信治

アイヌラさんからのメッセージ



Thank you so much for the opportunity to work with you
I have been truly enjoying time in the Nursery school. I am really happy to learn more about the Japanese culture and language through interaction with local kids.
From the first day I was welcomed by the staff and kids. I really feel like we have been knowing each other for many years already. One day 5-year-old girl said: I like you so much Ainura san. It was the most heartbreaking and touching moment.

Thank you for your hospitality!

With regards,
Botagarova Ainur

一緒に活動をする機会を与えていただきありがとうございました。

保育園での時間を本当に楽しんでます。

地元の子供たちとの交流を通して、日本の文化や言語についてたくさん学ぶことができ、本当にうれしいです。初日から、スタッフの方と子供たちに歓迎されました。

私たちはすでに長年にわたってお互いを知っているかのように感じました。

ある日、5歳の少女が言いました：私はあなたが大好きです アイヌラさん！ それは最も嬉しくて感動的な瞬間でした。おもてなしをありがとうございました！

これからもよろしくお願ひします。

アイヌラ

アイヌラさん大好き♡

今年度春から、カザフスタン出身のアイヌラさんが月2回保育園に来て下さっています。

まずはアイヌラさんの国のこと、好きなこと、など写真を使って紹介してもらいました。みんな興味津々で見せていました。幼児クラスとの交流では「カザフスタンのとし」という干支のお話を読み聞かせていただきました。日本の干支とは少し違って、龍ではなくかたつむりだったり、猪は豚だったり・・・

運動会やこども展の作品にと表現が繋がっていきました。ねずみ役のアイヌラさんもとってもかわいかったですね。すずらんさんはカザフスタンの料理「サムサ」を教えてもらいました。小麦粉をこねて生地から作り、ギョウザのように包みます。個性豊かな形ができあがりました。ちゅうりっぷ、かななさんも一緒に食べました。とても美味しく、たくさんあったサムサがあつという間になくなりました！

カザフスタンのダンスも生活発表会にて披露しました。様々な国の民族衣装も素敵でしたね。

乳児クラスでは自然な遊びの中で無理のない交流を楽しむことができました。園庭や三角公園へのお散歩など、小さな子どもたちも笑顔に向けて、あたたかな関わりがみられました。

残りあと少しとなりましたが、素敵な時間をたくさん過ごせたこと、感謝しています。



サムサ シシビ

生地 小麦粉 1kg

具材 鶏ミンチ 1kg

温水 2カップ

玉ねぎ 500g

塩 少々

塩・こしょう 適量

マーガリンまたはバター 200g(保育園ではサラダ油で代用)

1. 温水に塩を入れて混ぜる。
2. 1と小麦粉を混ぜ生地を作る。ボウルに入れて10～30分寝かす。
3. 生地を厚さ約2～3mmの薄い長方形の生地シートにしたら溶かしたマーガリンかバターをかける。
4. 端から生地を葉巻のようにしっかりと丸め、20個くらいに切る。
5. 玉ねぎhみじん切りにしミンチと混ぜる。
6. 生地を薄い円シートにのばし、真ん中に具を置いて包む。
7. 180～200℃のオーブンでおよそ30分焼くと出来上がり！！

えがお ひがしくじょうま だん
笑顔いっぱい 東九条マダン ☺

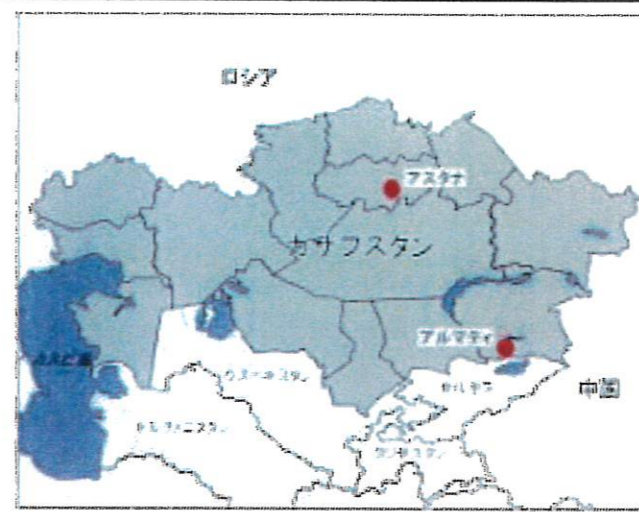
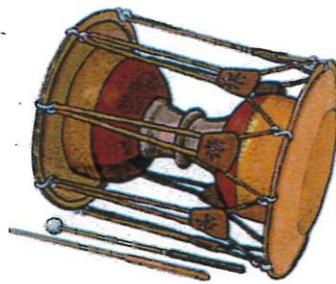
2019年 11月3日。気持ちの良い青空の下、今年も東九条マダンが盛大に開催されました。今年の会場は、凌風学園です。卒園児の子も多く通っており、保育園としてもゆかりのあるこの場所で開催された事、とても嬉しく思いました。

すずらん組(年長児)は、パレードとソゴの踊りに参加しています。パレードはソゴを持って会場周辺を歩き大人の方々とこれから始まるマダンを盛り上げます。ドキドキ、わくわく、でも楽しい！という気持ちが子どもたちから伝わってきました。

ソゴの踊りは9月から練習をスタート。小学1年生のお友だちにリードをしてもらい、汗びっしょりになりながら頑張りました。当日、たくさんのお客さんの前で踊っている表情は緊張の中にも可愛い笑顔があり、楽しそうでしたよ。

みんなで作ったくす玉もきれいに割れました。

保育園の民族衣装コーナーにも、たくさんのお客さんが来て下さり大盛況でした。子どもから大人まで幅広い年齢の方が記念写真を撮って、素敵な笑顔になっていましたよ。私たちもとても幸せな気持ちになります♡
また来年も東九条マダンで会いましょうね!!



カザフスタンって
どんな国？



春、アイヌラさんと職員との交流会を行いました。アイヌラさんのこと、カザフスタンのこと、知らなかったことをたくさん伝えてくださいました。

カザフとはチュルク語からくる名前。言語はカザフ語とロシア語。領土はヨーロッパと同じくらいの大きさで、世界で9番目に大きい。

14の都市でできていて Nursultan(ノルスタン)が首都。人口は100万人、世界で2番目に寒い地域。南部は暑く、北部はとても寒いという極端な気候である(-40℃、+40℃)15年以上アイヌラさんが住んでいた町、Almaty(アルマティ)という最大の都市は、7つの川が流れているという意味をもち、100年以上続くりんご発祥の地でもある。たくさんの自然があり、8万以上の湖、19の山脈や滝、100種類以上の魚たち、500種類以上の鳥や180種類の動物が生息している。

40年間、カザフスタンの広大な草原は核実験に使用されていた。1989年、核実験被害を受けたセミパラチンスクの市民たちが立ち上げた反核運動「ネバダ-セミパラチンスク」が創設され、1991年にセミパラチンスク市(北東部)の核実験場の閉鎖につながった。

イスラム教徒が70%であるが宗教は自由である。

3歳~5歳の子どもの55、3%が幼稚園等に通っている。

東京からカザフのヌル・スルタンまで8時間の直行便ができたそうです。

冬より夏がおススメとのこと♡

♡ アイヌラさんの好きなことってなあに？ ♡

・読書・料理・編み物・ハイキング

